

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会

～ H22 ニュースレター 第4号 ～

平成23年3月

「伊勢熊野みち」推進協議会を開催しました！

平成23年2月19日（土）、熊野市文化交流センターにおいて、今年度2回目となる日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会を開催しました。地元で活動する8団体、市町や建設事務所など8所属から合わせて28名が参加し、活動状況の報告や来年度の取組に関する意見交換が行なわれました。

はじめに、室谷会長からあいさつがあり、熊野古道や東紀州地域を取り巻く現状の説明がありました。

その中で、東紀州観光まちづくり公社が斡旋する「語り部」の案内件数が増加しており、「語り部」の案内人数でみると、平成20年の7,300人から平成22年は22,900人へ3倍以上に伸びていることや、関西方面からのバスツアー客の増加がその要因として考えられることが紹介されました。

また、津IC以南の高速道路が無料化されたことによって、東海地方からはマイカー客が増加しており、今後とも、もてなしの地域づくりを推進協議会全体で取り組んでいくことが提唱されました。



活動状況の報告

次に、地元活動団体から今年度の活動実績や3月までの予定について報告がありました。

それぞれの団体が熱心な取組を展開していることから、情報の発信や共有に一層力を入れて取り組み、構成団体間で相互に活動状況を把握することによって、連携を強化していくことが確認されました。



意見交換

最後に、推進協議会における来年度以降の取組について意見交換を行ないました。まず、地元活動団体へ行なったアンケートの結果として、みちづくり研究会や講演会などの開催継続を希望する声が多かったことや、「地元の歴史や文化で知らないことが意外に多い」という意見のあったことなどが紹介されました。

その後の意見交換では、推進協議会としての取組を継続していくことや、平成23年度の取組内容についてはアンケートなどを踏まえ、事務局から提案していくことなどが確認されました。



「伊勢熊野みち」講演会を開催しました！

推進協議会終了後、みえ熊野学研究会三石学氏を講師に迎え、「名所図会にみる熊野古道伊勢路」と題して講演会が開催されました。

推進協議会の構成団体以外に、東紀州地域のまちづくり団体や「美し国おこし・三重」のパートナーグループをはじめ、熊野古道語り部友の会、伊勢路友の会の会員などを含めて、約60名の参加がありました。



講演の概要

講演では、紀伊国名所図会などの様々な図会が紹介されるとともに、図会が作られた時代の背景やその活用方法等について説明がありました。また、図会と合わせて、描かれた場所の現況写真がスクリーンへ映し出され、その頃の生活や風習と合わせて、現在確認できる当時の名残などがわかりやすく説明されました。



質問と回答

【終了後に提出された質問と三石さんの回答】

Q：「紀伊」と「紀勢」の違いは何ですか？由来はありますか？

A：「紀伊」は紀州の範囲と同じで今の和歌山県と三重県の一部（紀北町と大紀町の南部）を含む区域です。紀伊は和銅6年（713年）に二文字の良い文字（雅字）で表すようにとの勅令が出たときにそれまでの「木国（きのくに）」から改名されました。

「紀勢」は狭義には旧紀勢町のように限定された地域でも使われていますが、広義には紀伊と伊勢を結ぶ地域としての意味から漠然とした範囲で使われています。

たとえば「JR 紀勢本線」は伊勢の亀山駅と紀伊の和歌山駅を結ぶ路線ですし、高速道路の道路名である「紀勢自動車道」は勢和多気ICから紀伊長島IC間を結ぶ高速道路です。このように紀勢の範囲もまちまちで、ここからここまでと決まっていません。

活動をPRしよう

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会では、地域の活動をホームページや資料提供などにより共有するとともに、幅広くPRしていきますので、今後の活動予定を事務局までお知らせ願います。

推進協議会のホームページでは、各団体の活動を紹介していますので、是非ご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/KEIMACHI/HP/sb/sbindex.htm>

お問い合わせ・連絡先はこちら

【事務局】

◎三重県 県土整備部 景観まちづくり室

（担当：大谷）

TEL：059-224-2747

FAX：059-224-3270

Mail：keimachi@pref.mie.jp
